

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	開所以来3年が経過し、利用者様の状況より重度化や、終末期に向けた対応が不可欠になって来たが、設備や、スタッフの意識が不十分である。	協力病院との一層の連携で、スタッフの終末期や看取り等に関する知識や意識の向上を目指すと共に設備の充実を図る。	スタッフの、外部の勉強会への積極的な参加を促す。協力病院の医師の参加のもと、グループホームでのカンファや事例検討を通し、意識等の向上を図る。設備については、環境整備を随時会社に働きかけていく。	24 か月
2	35	災害対策については、自治会の会長が変わると、グループホームに対する災害時の対応が変わることもあり連携が十分でない。	地域との連携を密にし、災害時の対応策を確立。マニュアルを作成する。	地域の防災訓練に参加する。訓練の情報等を得るためにも、運営推進会議を通じた働き掛けや、グループホームでの訓練に対する協力を依頼する。	12 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。